

款	教育費	項	教育総務費			
事業名	教育相談室移転事業					
施 策 の 大 綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり					
施 策 名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実					
施 策 の 内 容	3 教育内容の充実					
R1決算額	30,502千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				18,100千円		12,402千円

【事業の概要】

教育相談室は真鍋事務庁舎旧館で運営していましたが、建物の老朽化が著しく、新耐震設計基準施行以前の建物であることから、平成26年3月に閉校し公共施設としての利活用を検討していた旧穴塚小学校を移転先として整備し、令和元年9月26日から新施設にて運用を開始しました。

- ・移転前：真鍋事務庁舎旧館2階（昭和44年竣工）
- ・移転後：旧穴塚小学校2階東側部分（昭和51年竣工、新館昭和62年竣工）
※旧穴塚小学校校舎は、教育相談室と公文書庫の複合施設として運用を開始しました。

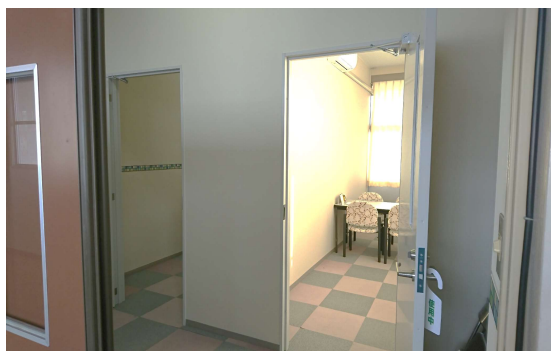
◎教育相談室の業務内容

- ・電話相談（昭和53年設置・相談開始）
教育問題一般を対象とした相談対応
- ・適応指導教室「ポプラひろば」（平成10年設置・相談開始）
不登校児童・生徒に対し、再登校への手助けをする教室

〔事業費〕

（単位：千円）

区 分	事業費	概 要
報酬	276	非常勤職員報酬（管理員）
需用費	3,018	消耗品費、プロパンガス料金、光熱水費、施設修繕料
役務費	674	インターネット・電話導入費用、複合機等移設作業費等
委託料	2,294	引越運搬委託料、清掃委託料、廃棄物収集運搬委託料等
使用料及び賃借料	5	テレビ受信料
工事請負費	24,235	校舎転用改修工事費、駐車場整備工事費
合 計	30,502	



空き教室を相談室に改修



保護者の送迎による通室を想定し駐車場を整備（体育館等利用者と共用）

【事業の成果】

新しい教育相談室を整備したことで、安心して通室できる環境が整いました。また、移転に伴い十分な面積を確保することができたことから、相談室や学習室を増室することができ、増加している不登校児童生徒へのよりきめ細やかな支援が可能となりました。

款	教育費	項	小学校費				
事業名	小学校適正配置推進事業						
施 策 の 大 綱	2－2　心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり						
施　　策　　名	1　生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実						
施 策 の 内 容	1 0　小学校の適正配置						
R1決算額	3,063千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
						3,063千円	

【事業の概要】

平成24年度に策定した「土浦市立小学校適正配置実施計画」に基づき、適正規模に満たない小学校が複数ある上大津地区について、子どもたちのより良い教育環境の整備を目指すため、上大津地区小学校適正配置検討委員会を設置し、具体的な検討を進めています。

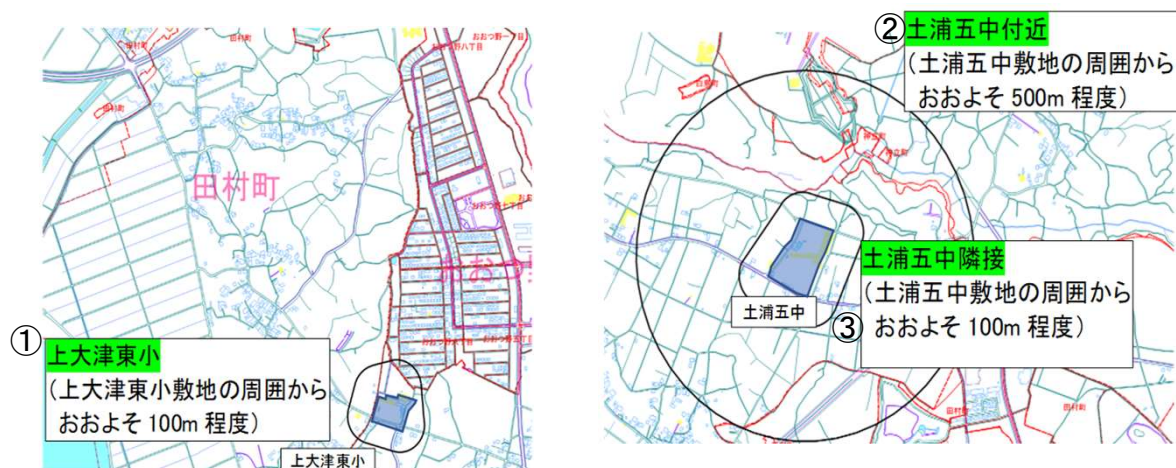
◎これまでの経緯

- 平成29年度
 - ・上大津地区小学校適正配置保護者・地域住民説明会の開催（8月）
 - ・上大津地区小学校適正配置検討委員会の開催（11月、2月）
- 平成30年度
 - ・上大津地区小学校適正配置保護者・地域住民説明会の開催（6月、1月）
 - ・上大津西小学校区アンケートの実施（9月）
 - ・上大津地区小学校適正配置検討委員会の開催（7月、10月、2月）
 - ・上大津地区小学校適正配置実施計画の中間提言（11月）
 - ・上大津西小学校と菅谷小学校の暫定的統合計画の策定（2月）

◎令和元年度実施内容

適正配置の協議を進める中、新たな課題（埋蔵文化財包蔵地、農用地除外、森林法届出など）が生じたことから、専門的な視点を踏まえて検討するため、会議資料作成委託を行いました。

- ・上大津地区小学校適正配置検討委員会資料作成委託（12月～3月）
- ・上大津西小学校閉校式（2月29日）
- ・上大津地区小学校適正配置検討委員会の開催（3月）



上大津地区小学校適正配置の3候補地

【事業の成果】

令和2年3月に検討委員会を開催しましたが、最終的な候補地の選定までには至らなかったことから、神立小学校を除く3小学校（上大津東小学校、上大津西小学校、菅谷小学校）を統合し、その統合先を「①上大津東小学校とする。②土浦第五中学校付近とする。③土浦第五中学校隣接とする。」の3案について、引き続き、次年度に協議を行います。

なお、上大津西小学校は、菅谷小学校に暫定的に統合したことから、令和2年3月末をもって廃止しました。

款	教育費	項	小学校費				
事業名	小学校／中学校施設非構造部材耐震化事業						
施 策 の 大 綱	2－2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり						
施 策 名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実						
施 策 の 内 容	9 学校施設やICT機器の整備・充実						
R1決算額	134,324千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			43,878千円	84,000千円		6,446千円	

【事業の概要】

東日本大震災の被害状況を受けて平成23年度に改正された文部科学省の施設整備基本計画方針に基づき、校舎及び屋内運動場の耐震化を図っていますが、構造体の耐震化が平成27年度に完了し、屋内運動場等の非構造部材の耐震化についても平成29年度に完了したことから、これに引き続き、校舎等の非構造部材の耐震化を推進しています。

令和元年度は、平成30年度に行った実施設計に基づき、小学校2校の非構造部材耐震化工事を実施しました。

◎事業内容

・対象校

(単位:階・㎡)

学校名	構造	階数	延床面積
下高津小学校	鉄筋コンクリート造	3	5,277
荒川沖小学校	鉄筋コンクリート造	3	4,918

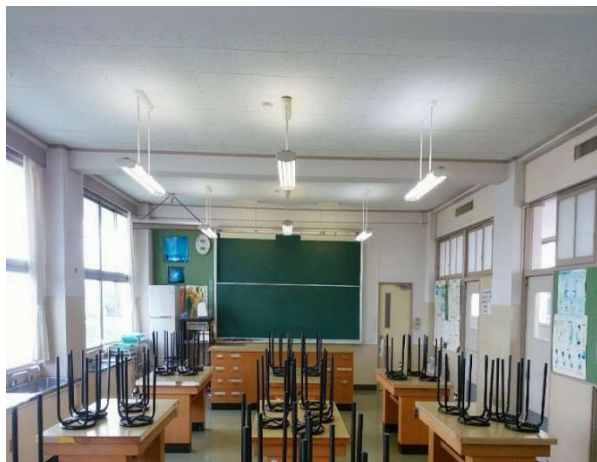
・工事概要

窓ガラス飛散防止工事，照明・放送設備機器などの落下防止工事，家具・什器などの転倒防止工事

〔事業費〕

(単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	134,324	非構造部材耐震化工事
合計	134,324	



理科室照明 工事前



理科室照明 工事完成後

【事業の成果】

校舎の非構造部材耐震化工事を行い、児童・生徒の安心・安全な学習環境の向上に寄与しました。

款	教育費	項	社会教育費			
事業名	特別展・企画展					
施 策 の 大 綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり					
施 策 名	4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり					
施 策 の 内 容	6 博物館・上高津貝塚ふるさと歴史の広場活動の充実					
R1決算額	963千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
						963千円

【事業の概要】

上高津貝塚ふるさと歴史の広場では、第22回企画展「常陸の玉作り 重要文化財武者塚古墳出土品同時公開」を開催しました。

本市の遺跡から、古墳時代の初めの4世紀代に、メノウ製の勾玉を製作した工房跡が発見されました。これは日本で最古の可能性があり、出土品は製作技法も分かる資料であることから、市指定文化財となっています。展示では、関東地方の玉作資料や、古墳から発見された玉類などを紹介しました。また、武者塚古墳から発見された重要文化財の出土品について、保存処理や保存台製作が完了したことから、同時公開を行いました。

開催期間 令和元年10月19日(土)～12月8日(日)

入館者数 5,856名

記念行事

・記念講演会

「東日本の玉作りー古墳時代前期を中心にー」

「霞ヶ浦の玉作遺跡と前期古墳」

・ギャラリートーク、植物観察会

・武者塚古墳石室公開

上坂田地区に、覆屋を設けて保存している武者塚古墳の石室を公開しました。

・上高津貝塚どきどき体験

火起こしや栞作りなどの体験型イベントを開催しました。筑波山地域ジオパークのPRも兼ねています。

〔事業費〕

(単位：千円)

区 分	事 業 費	概 要
報償費	50	講演会講師謝礼
需用費	339	展示用消耗品、ポスター・パンフレット、写真パネル印刷等
役務費	521	通信運搬費、看板等筆耕料
その他	53	旅費、有料道路使用料
合 計	963	



展示風景



武者塚古墳石室公開

【事業の成果】

今回展示した本市出土の考古資料は学術的価値が高く重要なもので、それらの調査研究の成果を、市内はもとより広く発信することが出来ました。身近な場所にある遺跡を取り上げたことで、歴史に対する市民の理解・関心を深めることに寄与しました。武者塚古墳についても関心は高く、石室公開には多くの参加者がありました。

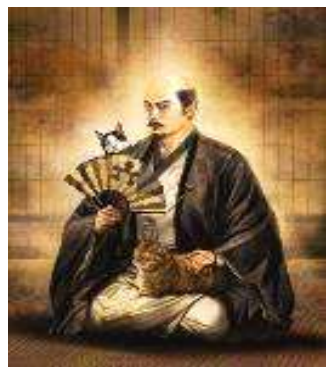
款	教育費	項	社会教育費			
事業名		美術品公開推進事業				
施 策 の 大 綱 2－2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり						
施 策 名 4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり						
施 策 の 内 容 1 文化芸術活動の推進						
R1決算額	2,073千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 2,073千円
【事業の概要】						
公開推進事業として、下記の展覧会を開催しました。						
◎土浦市立図書館・土浦市民ギャラリー連携企画展						
「アートとブックが会える場所ー絵と言葉から考える本の世界ー」						
会期：平成31年3月21日（木祝）～5月6日（月祝）【42日間】						
来場者数：3,403人						
土浦市立図書館と土浦市民ギャラリーそれぞれの特性を活かしながら連携展を開催しました。						
〔令和元年度 事業費〕（単位：千円）						
区分	事業費	概 要				
報償費	170	講師謝礼				
役務費	212	通信運搬費、広告料				
合 計	382					
						
連携企画展 展示風景						
◎企画展「塙賢三展～ピエロの画家、ふるさとへ」						
会期：令和元年8月10日（土）～9月16日（月祝）【34日間】						
来場者数：3,495人						
「ピエロの画家」、土浦出身の塙賢三氏の作品が寄贈されたことから、企画展を開催いたしました。						
〔事業費〕（単位：千円）						
区分	事業費	概 要				
報償費	34	講師謝礼				
旅費	23	資料借用・返却時旅費				
需用費	406	展示用消耗品、ポスターなど				
役務費	620	通信運搬費				
合 計	1,083					
						
塙賢三展「ピエロ・若い道化」						
◎土浦市市政施行80周年記念「戦国群像～諏訪原寛幸イラストレーション展」						
会期：令和2年3月14日（土）～5月6日（水祝）【20日間※】						
来場者数：720人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月8日で中止						
土浦市のシンボルである「土浦城」について、土浦市立博物館、上高津貝塚ふるさと歴史の広場と連携展示を行いました。						
〔令和元年度 事業費〕（単位：千円）						
区分	事業費	概 要				
報償費	13	展示協力謝礼				
需用費	392	展示用品、クリアファイル				
役務費	56	手数料、広告料				
合 計	461					
						
戦国群像展「小田氏治肖像」						
◎土浦市収蔵美術品展 合計5回開催						
〔事業費〕（単位：千円）						
区分	事業費	概 要				
役務費	147	通信運搬費				
合 計	147					
【事業の成果】						
塙賢三作品は独特の作風が知られ、今回の展示がきっかけになり作品や人物に興味を持つ方も多くみられました。また、土浦市立博物館・上高津貝塚ふるさと歴史の広場と連携した「戦国群像展」も大変注目を集めました。						



連携企画展 展示風景



塙賢三展「ピエロ・若い道化」



戦国群像展「小田氏治肖像」

款	教育費	項	社会教育費			
事業名	市民会館耐震化及び大規模改造事業					
施 策 の 大 綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり					
施 策 名	4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり					
施 策 の 内 容	2 文化施設等の整備と活用					
R1決算額	2,087,269千円	財源内訳	国県支出金 73,269千円	地方債 1,563,500千円	その他	一般財源 450,500千円

【事業の概要】

土浦市民会館は、昭和44年の竣工から長期間が経過し、老朽化が著しく、耐震補強も必要であると診断されていることから、老朽箇所等の大規模な改修を行い、施設の耐震化を図ることで、施設を安心・安全に利用できるように整備しました。

平成29年度から平成30年度に設計業務を行い、平成30年12月19日から令和2年3月15日を工期として耐震補強及び大規模改造工事を実施しました。

[平成30年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	36,737	耐震補強及び大規模改造工事
委託料	583	耐震補強及び大規模改造工事設計業務委託
合計	37,320	

[令和元年度分]

(単位：千円)

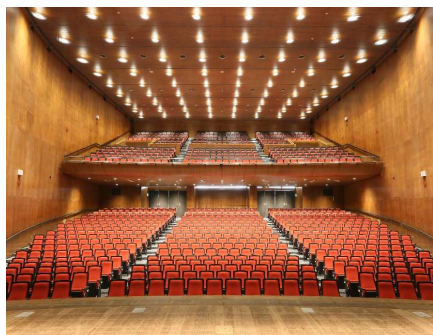
区 分	事業費	翌年度繰越分	概 要
工事請負費	2,015,625	-	耐震補強及び大規模改造工事
	5,800	8,940	駐車場整備工事
委託料	26,827	-	耐震補強及び大規模改造工事監理業務委託
	1,256	-	ピアノ保管、コンデンサーPCB分析に係る委託料
その他	441	-	印刷製本費、旅費、役務費、保険料
合計	2,049,949	8,940	

◎改修工事の概要

- ・耐震補強工事
- ・大小ホール天井脱落防止対策
- ・トイレの全面改修
- ・エレベーター及びスロープの新設
- ・大小ホール客席の交換
- ・舞台設備の改修
- ・東側駐車場の整備 ほか

◎事業スケジュール

平成29年度	設計業務
平成30年度	設計業務、改修工事
令和元年度	改修工事、 駐車場整備工事
令和2年度	駐車場整備工事
令和2年5月24日(日)	リニューアルオープン



改修後の大ホール客席



エレベーター及びスロープの設置

【事業の成果】

令和元年度は耐震補強及び大規模改造工事が完了し、駐車場整備工事については、令和2年4月15日に完了しました。

改修工事によって、より安心・安全に、快適・便利に利用できる施設となりました。

リニューアルオープン後は、市民の文化芸術活動の拠点としての活用を推進します。

款	教育費	項	社会教育費			
事業名	重要資料公開推進事業					
施 策 の 大 綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり					
施 策 名	4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり					
施 策 の 内 容	6 博物館・上高津貝塚ふるさと歴史の広場活動の充実					
R1決算額	5,818 千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
						5,818 千円

【事業の概要】

博物館では、第40回特別展「町の記憶―空都土浦とその時代」、土浦市市制施行80周年・続日本100名城選定記念・第41回特別展「土浦城―時代を越えた継承の軌跡」などを開催しました。

〔令和元年度 入館者実績〕

(単位：人)

展覧会の名称	開催期間	入館者数	概要
第40回特別展「町の記憶―空都土浦とその時代」	平成31年4月2日～5月6日	8,222	ふたつの海軍航空隊と土浦町の近代
はたおり作品展&文化財特別公開	平成31年4月2日～4月7日	3,461	「はたごしらえ講座」受講生の作品を展示
テーマ展「秋の夜空を彩る花火」	令和元年9月14日～11月10日	5,139	秋の風物詩「土浦の花火」
特別公開「土屋家の刀剣」	令和元年9月20日～10月8日	3,087	国宝・重要文化財の公開
むかしの暮らしの道具展	令和2年1月5日～2月24日	9,169	小学校の校外学習に合わせて展示
第41回特別展「土浦城―時代を越えた継承の軌跡」	令和2年3月14日～3月31日	2,612	亀城と呼ばれ、親しまれてきた城の歴史

〔令和元年度 事業費〕

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
報償費	191	講演会講師謝礼，資料借用謝礼，体験講座講師謝礼等
旅費	137	調査旅費，資料借用・返却時旅費
需用費	2,394	消耗品費，図録・ポスター・チラシ等印刷製本費
役務費	3,096	通信運搬費，手数料，筆耕料，資料借用時保険料，広告料
合 計	5,818	



「町の記憶―空都土浦とその時代」展示解説会 「土浦城―時代を越えた継承の軌跡」展示室

【事業の成果】

本市の歴史や文化に関わる資料を調査研究し、その成果を公開することにより、市民の地域文化への理解が深まるとともに、更なる文化財保護の契機となることが期待されます。令和元年度の特別展では、本市とゆかりのある「航空隊」と、シンボルである「土浦城」などを取り上げました。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

事業名	川口運動公園野球場整備事業
-----	---------------

施 策 の 大 綱 2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり

施 策 名 5 すべての市民がスポーツ・レクリエーションに親しむまちづくり

施 策 の 内 容 2 スポーツ・レクリエーション施設の適正管理と利用促進

R1決算額	122,320千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				91,700千円		30,620千円

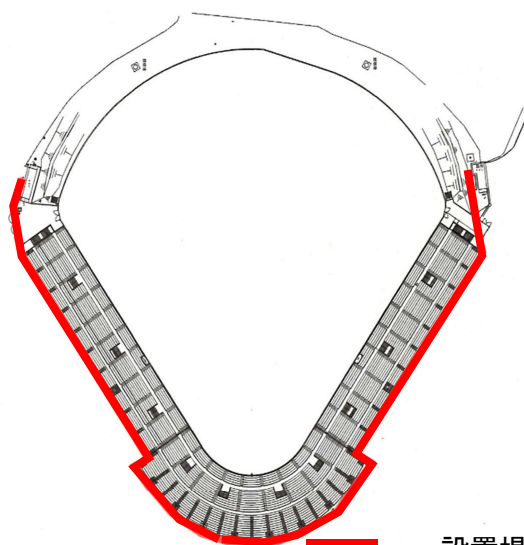
【事業の概要】

J：COMスタジアム土浦（川口運動公園野球場）スタンドに防球ネットを設置し、場外へのファウルボールの飛び出しを減らすことにより、歩行者等の安全を確保しました。

◎事業内容

- ・設置した防球ネットの概要

設置場所	延長	(単位：m)	
		地上高	
		施工前	施工後
メインスタンド	131.79	15.38	19.95
1・3塁側スタンド	162.30	12.02	
レフトポール際	7.50	-	18.15
	20.00		14.85
ライトポール際	7.50	-	18.15
	20.00		14.85



防球ネット設置位置図

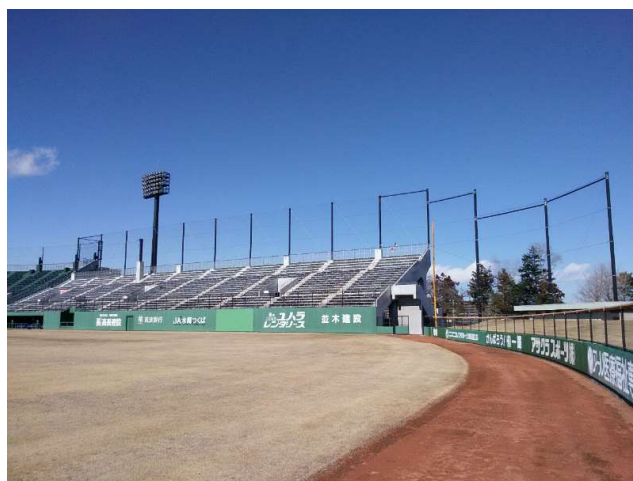
- ・事業費 (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	122,320	防球ネット整備工事費
計	122,320	

- ・設置前及び設置後の状況



設置前



設置後

【事業の成果】

場外へのファウルボールを減らすことにより、場外の歩行者等の安全確保が図られるとともに、球場利用者がより安心して利用できる環境の整備に寄与しました。

款	教育費	項	保健体育費			
事業名	茨城国体開催事業					
施 策 の 大 綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり					
施 策 名	5 すべての市民がスポーツ・レクリエーションに親しむまちづくり					
施 策 の 内 容	4 生涯スポーツの普及・振興の推進					
R1決算額	244,969千円	財源内訳	国県支出金 88,400千円	地方債	その他	一般財源 156,569千円

【事業の概要】

◎令和元年度の主な事業内容

- 平成31年4月 2019茨城国体土浦市実行委員会第5回総会の開催
- 令和元年6月～7月 各地区公民館でいきいき茨城ゆめ国体土浦市採火式を実施
- 令和元年8月 キララまつり内でいきいき茨城ゆめ国体土浦市集火式を実施
- 令和元年9月 第74回国民体育大会総合開会式
- 令和元年9月～10月 第74回国民体育大会土浦市開催競技を開催

競技	(種目)	日程	会場
水泳	(水球)	9月13日(金)～16日(月)	県立土浦第二高等学校プール
相撲		9月29日(日)～10月1日(火)	霞ヶ浦文化体育会館
高校野球	(軟式)	9月29日(日)～10月2日(水)	J:COMスタジアム土浦
軟式野球		10月4日(金)～5日(土)	J:COMスタジアム土浦

・令和2年2月

2019茨城国体土浦市実行委員会解散総会

〔事業費〕

(単位：千円)

区 分	事 業 費	概 要
負担金	244,969	2019茨城国体土浦市実行委員会運営負担金
計	244,969	

◎第74回国民体育大会の様子



水球



相撲



軟式野球



おもてなし



観覧席



学校応援

【事業の成果】

第74回国民体育大会を開催し、各会場では盛大な盛り上がりを見せる中、成功裏に大会を終えることができました。また、全国各地から来市する選手・監督をはじめ多くの大会関係者、観客の方々に対しては、市内の小・中・義務教育学校や町内会、ボランティアの方々など土浦市の総力を結集してのおもてなしにより温かくお迎えすることができました。

款	教育費	項	保健体育費			
事業名	学校給食センター再整備事業					
施 策 の 大 綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり					
施 策 名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実					
施 策 の 内 容	8 学校給食の充実					
R1決算額	854,448千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				654,100千円		200,348千円

【事業の概要】

老朽化した既存の2つの学校給食センターを統合し、旧新治庁舎跡地に1センター方式として、令和2年9月から供用開始できるよう（仮称）土浦市立学校給食センターを整備します。

◎これまでの経緯

- 平成25年度 土浦市立学校給食センター再整備基本構想を策定
- 平成26年度 新学校給食センターの事業手法を決定
- 平成28年度 新学校給食センターの建設場所を旧新治庁舎跡地に決定
厨房機器業者を選定するプロポーザルを実施
- 平成29年度 再整備基本・実施設計を作成（平成28年度・29年度の継続費）
旧新治庁舎の解体工事，記念碑等の移設工事を実施
- 平成30年度 建築工事と厨房機器購入の契約を9月に締結し，10月から工事に着工
（工期：平成30年9月～令和2年5月）

〔事業費〕

（単位：千円）

区 分	平成30年度 からの繰越額	令和元年度
製品工場検査旅費	-	53
建築確認等手数料	-	36
学校給食栄養計算システム使用料	-	3,124
学校給食センター再整備工事監理委託料（継続費）	752	6,389
学校給食センター再整備工事費（継続費）	51,690	792,404
	52,442	802,006

◎施設の概要（予定）

- 所 在 地：土浦市藤沢969番地2
- 調 理 能 力：4,000食×3献立（最大12,000食）
- 敷 地 面 積：6,883.68㎡
- 建 築 面 積：4,098.95㎡
- 延 べ 面 積：4,901.14㎡
- 構 造 ・ 階：鉄骨造・地上2階建て
- 熱 源：電気・LPガス



令和2年3月の工事状況

◎今後の予定

- 平成30年9月～令和2年5月 建築工事（継続費），厨房機器物品購入（債務負担行為）
- 令和2年6月～8月 準備期間
- 令和2年9月 供用開始

【事業の成果】

安心・安全で望ましい学校給食が提供でき，コンパクトで効率的な施設として，計画どおりに工事が進んでいる状態です。加えて，学校や家庭との連携を図りながら食物アレルギーの対応が可能な設備・機能を整備するとともに，食に関することや地産地消について学べる施設として，食育の推進にも寄与することを目指し，事業を推進します。

主 要 施 策 の 成 果 説 明 書

特 別 会 計

款	地域支援事業費	項	包括的支援事業・任意事業費			
事業名	地域包括支援センター体制整備事業					
施 策 の 大 綱	2－4 ふれあいとあたたかいまちづくり					
施 策 名	4 生きがいを持ち、元気で安心して暮らせる高齢者福祉の充実					
施 策 の 内 容	2 地域包括支援センターの体制整備					
R1決算額	90,834千円	財源内訳	国県支出金 52,456千円	地方債	その他	一般財源 38,378千円
【事業の概要】						
平成30年10月から地域包括支援センターを1か所増設し、2か所体制による、より積極的な高齢者支援、地域支援に取り組んでいます。						
より身近な地域の高齢者等の相談窓口として、生活の中での問題や、精神的な悩みなどの相談に対応し、必要な支援につなげるなど、高齢者等が安心して住み慣れた場所で生活を継続できる環境を整備し、高齢者本人及び介護する家族の負担軽減を図りました。						
[相談件数等の推移]		(単位：件)		[事業費の内訳]		(単位：千円)
	平成30年度	令和元年度			令和元年度	
総合相談件数	6,548	13,111	総合相談事業委託料		36,334	
権利擁護相談件数	367	644	権利擁護等事業委託料		27,250	
包括的ケアマネジメント支援対応件数	514	679	包括的ケアマネジメント支援事業委託料		27,250	
			合 計		90,834	
						
市北部 ★地域包括支援センターかんだつ（医療法人社団 青洲会） 担当地区：二中地区、五中地区、都和地区、新治地区 ～ 平成30年10月から運営開始 ～ 市南部 ★地域包括支援センターうらら（社会福祉法人 土浦市社会福祉協議会） 担当地区：一中地区、三中地区、四中地区、六中地区						
【事業の成果】						
昨年度と比較し、相談件数等が大幅に増加しました。						
その要因としては、高齢者数や認知症高齢者数の増加などの影響のほか、地域包括支援センターの増設により、地域に密着した事業運営が可能となり、より身近な地域の相談窓口として機能し、相談がしやすくなったことなどが考えられます。						
寄せられた相談については、地域包括支援センター、関係機関との連携により、適切に対応することができました。						

款

地域支援事業費

項

包括的支援・任意事業費

事業名

認知症施策推進事業

施 策 の 大 綱

2－4 ふれあいとあたたかいまちづくり

施 策 名

4 生きがいをもち、元気で安心して暮らせる高齢者福祉の充実

施 策 の 内 容

3 安心して暮らせる環境づくり

R1決算額

6,557千円

財源内訳

国県支出金

3,786千円

地方債

その他

一般財源

2,771千円

【事業の概要】

認知症の方の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らしていける社会の実現を目的に、認知症の初期段階の方への対応、家族等への支援及び認知症予防や見守り体制の構築などの各種事業を実施しました。

◎認知症の初期の段階における支援

サポート医と専門職（保健師、社会福祉士）によるチームにより、認知症の早期対応・支援を実施しました。令和元年度から、総合相談からチーム対応へ円滑に繋がるよう、各地域包括支援センターにチームを設置しました。

(単位：件)

令和元年度実績

チーム対象事例合計（実件数）

23

※うち終了事例合計

18

認知症相談件数合計

563

(単位：千円)

事業費

報償費（サポート医謝礼等）

49

委託料（チーム運営）

5,161

合 計

5,210

◎認知症カフェ「ふれあい茶屋」の開催

市内3か所で、それぞれ毎月1回、認知症カフェ「ふれあい茶屋」を開催し、認知症の方の通いの場、介護者の気分転換の場として活用されています。

(単位：千円)

令和元年度の実績

開催回数（回）

32

参加延人数（人）

645

※3か所の合計

事業費

委託料（ふれあい茶屋運営委託）

876

役務費（参加者保険）

37

使用料（参加者駐車場）

78

合 計

991



ふれあい茶屋さくらのスタッフ

◎その他 認知症ケア向上事業

・ 認知症地域支援推進員が中心になり、認知症ケアパスの作成、配付などを通じて、認知症ケアの啓発強化を行いました。

・ 行方不明となる恐れのある高齢者等については、「みまもりお願いシート」へ事前に情報を登録し、本市、地域包括支援センター及び土浦警察署等の関係機関で保管することで、行方不明時に活用できる取組を始めました。

・ 若年性認知症支援として、「若年性認知症支援に係る勉強会」の開催や「若年性認知症本人と家族の集い」の開催協力を行いました。

(単位：千円)

事業費

報償費（会議謝礼）

124

旅費（研修旅費）

10

需用費（ケアパス印刷製本費等）

169

役務費

15

負担金補助及び交付金（研修負担金）

38

合 計

356



勉強会の様子

【事業の成果】

認知症に関する地域の理解と参加型事業の実施により、認知症の方及び家族が安心して住み慣れた地域で暮らせるよう、支え合いの地域づくりに寄与しました。

款	下水道費	項	下水道建設費			
事業名	公共下水道（汚水）整備事業					
施 策 の 大 綱	2－5 環境を重視するまちづくり					
施 策 名	6 快適で衛生的な暮らしを支える下水道の整備					
施 策 の 内 容	1 公共下水道（汚水）整備事業の計画的な実施					
R1決算額	299,162千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
			72,788千円	198,800千円		27,574千円

【事業の概要】

生活環境の向上と霞ヶ浦や河川等の公共用水域の水質保全を図るため、計画的に公共下水道の整備を進めています。

◎公共下水道認可区域内の公共下水道（污水）施設整備事業

事業期間：昭和41年度～令和4年度 全体計画面積 6,017.2ha 認可区域面積 4,490.7ha

- ・東筑波新治工業団地ポンプ場新設工事（補助） 令和元年度～令和3年度継続事業
- ・管渠整備工事（補助） ϕ 200mm L=740.0m
- ・管渠整備工事（単独） ϕ 200mm L=700.0m ϕ 250mm L=62.0m

[平成30年度からの繰越分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
整備費	91,362	工事3件, 実施設計

[令和元年度分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
整備費	207,800	工事11件, 実施設計等, その他事務費等

[令和2年度への繰越分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
整備費	177,644	工事5件, 実施設計等, 補償金

◎下水道整備状況（令和2年3月31日現在）

整備区域面積 3,716.7ha
うち令和元年度整備面積 9.7ha
供用開始面積 3,716.7ha
人口普及率 88.1%



東筑波新治工業団地ポンプ場整備状況

【事業の成果】

東筑波新治工業団地ポンプ場、及び神立、田村第一・第二、沖宿、高津、小岩田、荒川沖第二の各処理分区において整備工事を行い、生活環境の向上を図りました。

款	下水道費	項	下水道建設費			
事業名	公共下水道（雨水）排水路整備事業					
施 策 の 大 綱	2－1 市民が主役の安心・安全なまちづくり					
施 策 名	5 雨水等による浸水被害に強いまちづくり					
施 策 の 内 容	5 公共下水道（雨水）整備事業					
R1決算額	638,875千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
			263,701千円	374,600千円		574千円

【事業の概要】

市街化の進展に伴う降雨時の家屋、道路等の浸水被害（冠水）の解消を図るため、雨水幹線の整備工事等を実施しています。

◎公共下水道認可区域内の公共下水道（雨水）施設整備事業

事業期間：昭和41年度～令和4年度

全体計画面積 6,017.2ha 認可区域面積 2,298.7ha

・木田余1号雨水幹線整備事業

排水路施設整備工事 □3,500mm×1,800mm L=69.0m

・神立菅谷雨水幹線整備事業

J R 常磐線横断部委託工事 □3,400mm×2,100mm L=21.0m

調整池整備工事（全体計画58,000m³：調整池掘削工）

[平成30年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
整備費	433,289	工事5件、委託工事1件、補償金外

[令和元年度分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
整備費	205,586	工事4件、委託工事1件、実施設計、補償金外

[令和2年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
整備費	252,915	工事4件、委託工事1件、実施設計外



神立菅谷雨水幹線
排水路整備状況（J R 常磐線東側）



神立菅谷雨水幹線
排水路整備状況（J R 常磐線横断部）

【事業の成果】

大雨による家屋の浸水被害や道路冠水を解消するための整備工事を行い、生活環境の向上を図りました。

款	資本的支出	項	建設改良費			
事業名	配水管施設整備事業／老朽管更新事業					
施 策 の 大 綱	2－5 環境を重視するまちづくり					
施 策 名	5 安全でおいしい上水道の安定供給					
施 策 の 内 容	2 送配水管整備の推進					
R1決算額	675,170千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				230,000千円	26,352千円	418,818千円

【事業の概要】

生活環境の改善と公衆衛生向上のため、配水管の計画的な整備を行い、未給水地域の解消とともに、安心・安全な水を安定的に供給するための相互連絡管路の充実を図りました。また、耐用年数の経過した铸铁管等の計画的な更新を実施しました。

[平成30年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事 業 費	概 要
委託料	9,830	実施設計 2 件 延長 2,690.0m
工事請負費	63,242	配水管布設工事 3 件 延長 945.1m
工事請負費	86,336	老朽管更新工事 4 件 延長 1,545.4m
工事請負費	38,031	送水管更新工事 1 件 延長 397.1m
計	197,439	

[令和元年度分]

(単位：千円)

区 分	事 業 費	概 要
委託料	22,847	実施設計 14 件 延長 2,240.0m
工事請負費	141,128	配水管布設工事 15 件 延長 1,303.3m
工事請負費	228,168	老朽管更新工事 12 件 延長 1,517.7m
工事請負費	85,588	送水管更新工事 2 件 延長 409.5m
計	477,731	

[令和2年度への繰越]

(単位：千円)

区 分	事 業 費	概 要
委託料	22,348	実施設計 4 件 延長 2,640.0m
工事請負費	111,484	配水管布設工事 6 件 延長 2,406.4m
工事請負費	192,353	老朽管更新工事 7 件 延長 2,114.3m
工事請負費	37,572	送水管更新工事 1 件 延長 385.6m
計	363,757	



[令和元年度末整備状況]

配水管路延長		約883km
うち耐用年数40年を超えた管路延長		約137km
給水区域内人口	A	138,182人
給水人口	B	134,734人
給水戸数		59,935戸
普及率	B/A	97.5%

【事業の成果】

利用者へ安心・安全な水道水を安定的に供給するとともに、災害時に備えた水の確保と災害に強い施設の整備に寄与しました。

